

令和3年度歳入歳出決算

平均被保険者数 = 11,704人

Table with 4 columns: 科目, 収入済額(円), 構成率(%), 被保険者1人当たり(円). Rows include 国民健康保険料, 国庫支出金, 繰入金, etc.

Table with 4 columns: 科目, 支出済額(円), 構成率(%), 被保険者1人当たり(円). Rows include 組合会費, 総務費, 保険給付費, etc.

Table with 3 columns: 区分, 総額(円), 被保険者1人当たり(円). Rows include 歳入歳出差引剰余金, 特別積立金積立額, etc.

3年度決算を認定

7月通常組合会

7月20日(水)午前10時から、本部会館において、組合会議員31人(委任状提出者6人を含む)、理事長、副理事長2人、代表監事(議員兼職)の出席で7月通常組合会が開催されました。

吉田謙士議員(高松支部)が議長に、古川義之議員(香川支部)が副議長に選出された後、令和3年度の事業報告や歳入歳出決算等について確認いただき、すべての議案が認定・可決されました。

令和3年度の年間平均組合員数は、5721人で、前年度に比べ1人減少、家族数は、5983人で、139人減少しました。合計被保険者数は、1万1704人で147人の減となっております。

令和3年度の特定健康診査の実施状況は、令和2年度に比べ89.6%増加した。国からの補助金は、17億7209万円で、前年度と比べて1億4244万円、7.4%減少しました。

3年連続の赤字決算 医療費の減で赤字額は減少

北、南部、高松、香川、三豊、西讃、小豆島の7支部でした。特定保健指導の実施率(速報値)は、39.0%です。平成30年度から開始したバス健診当日の初回面接分割実施の効果により、10月の法定報告時の実施率は、3年連続で目標値の50%を上回る見込みです。

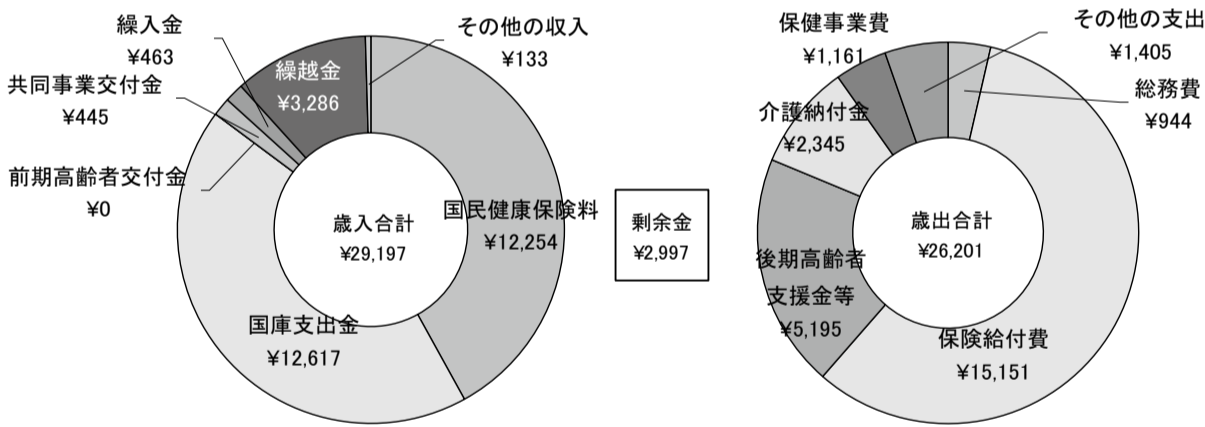
主な要因は、補助対象費用(療養給付費等)が減少したこと、平成30年度実施の所得調査結果に基づく普通調整補助金の減に係る激変緩和措置(特別調整補助金4625万円)がなくなったことによるものです。

前期高齢者交付金は、前年度が4310万円でしたが、香建国保における前期高齢者の加入率が下がったため、前年度と比べて8204万円、4.3%減の18億3513万円でした。

後期高齢者支援金等は、前年度比95.1万円(1.3%)増の7億2966万円、介護納付金は、前年度比1254万円(4.0%)増の3億2930万円、年々増加しています。

歳入歳出差引剰余金は、前年度比4058万円減の4億2089万円、全額を翌年度に繰り越します。実質単年度収支は、赤字額が前年度の7930万円から1942万円に減少しました。赤字減少の主な要因は、令和3年度に全ての区分で保険料を引き上げたこと、医療費が減少したことによるものです。

令和3年度 被保険者1人当たり月額による収支の内訳



財産目録

令和4年3月31日現在

Table with 3 columns: 取得価格(円), 備考, 金額(円). Rows include 土地, 建物, 備品, 積立金, etc.

令和3年度の実質単年度収支は、医療給付費が医療費の減と保険料引上げにより赤字となりましたが、後期高齢者支援金分と介護納付金分は、保険料を引き上げたにも関わらず、高齢化に伴う納付金の増により赤字が続いています。なお、令和4年から団塊の世代が75歳に到達し始め、後期高齢者数は令和12

年頃まで増え続ける見込みです。後期高齢者の医療費や介護給付費の抑制は、私たちの努力が及びにくいものですが、香建国保の医療費は、「セルフメディケーション(自分の体や健康に関する心もち、自分の健康は自分で守ること)」により抑制することができそうです。健診を継続して受診し、特定保健

指導を積極的に受けることで疾病の早期発見や早期治療を心がけていただくとともに、ジエネリック医薬品の活用などの医療費節約に引き続きご協力くださいますようお願いいたします。そして、そういった取組の効果を皆さんが実感できたり数字に表れるようになることを期待しています。

後期高齢者支援金分と介護納付金は赤字のまま

令和3年度の実質単年度収支は、医療給付費が医療費の減と保険料引上げにより赤字となりましたが、後期高齢者支援金分と介護納付金分は、保険料を引き上げたにも関わらず、高齢化に伴う納付金の増により赤字が続いています。なお、令和4年から団塊の世代が75歳に到達し始め、後期高齢者数は令和12

年頃まで増え続ける見込みです。後期高齢者の医療費や介護給付費の抑制は、私たちの努力が及びにくいものですが、香建国保の医療費は、「セルフメディケーション(自分の体や健康に関する心もち、自分の健康は自分で守ること)」により抑制することができそうです。健診を継続して受診し、特定保健

指導を積極的に受けることで疾病の早期発見や早期治療を心がけていただくとともに、ジエネリック医薬品の活用などの医療費節約に引き続きご協力くださいますようお願いいたします。そして、そういった取組の効果を皆さんが実感できたり数字に表れるようになることを期待しています。

は、前年度比4058万円減の4億2089万円、全額を翌年度に繰り越します。実質単年度収支は、赤字額が前年度の7930万円から1942万円に減少しました。赤字減少の主な要因は、令和3年度に全ての区分で保険料を引き上げたこと、医療費が減少したことによるものです。

国保組合だより

発行 香川県建設国民健康保険組合 高松市鹿角町151-4 TEL087-866-4721 FAX087-866-7455